



学園記念ホール
スタンダードアス



Information Term

Nichi-On

創立102周年

Since 1903

The Campus News

・ キャンパス ニュース ・ 日本音楽学校 幼児教育科 ・ 学生向 情報

2・3月号

2005 第 106 号
編集発行 学園事務局

2月～4月の行事予定

幼児教育科(保育士コース/保育士・幼稚園教員コース)

1年

- 1月28日(金)～2月3日(木) 後期試験
- 2月3日(木) 後期休業前授業終了
- 4日(金)～10日(木) 追・再試験期間
- 11日(金) 建国記念の日(休校)
- 14日(月)～19日(土) 幼稚園実習(保幼)
- 21日(月)～3月3日(木) 保育園実習(保幼)
- 3月12日(土)～18日(金) オーストラリア研修旅行

- 4月1日(金)・新2年生引インテ-ション
- ・新2年生教科書販売
- 4日(月) 新2年生授業開始
- 7日(木) 入学式
- 15日(金) 健康診断
- 25日(月)～26日(火) 新1年生宿泊研修のため
新2年生全日休講

2年

- 1月28日(金)～2月3日(木) 後期試験
- 2月3日(木) 後期休業前授業終了
- 4日(金)～10日(木) 追・再試験期間
- 11日(金) 建国記念の日(休校)
- 3月8日(火) 卒業式礼-拜 記念大ホ-ル
- 9日(水) 卒業式 10:00AM 記念大ホ-ル

卒業おめでとう

行事予定は「追加・変更」になることがありますので、校内掲示等に注意して下さい。

「学園生活を振り返って」

保2B学生 眞下公一

本校に入学して、あと僅かで卒業を迎えようとしています。あっという間に2年間で過ぎ去ってしまいましたが、学校での生活をまじまじと思い返してみると内容の濃い充実した日々をおくることができたのではないかと感じています。

入学当初に行った宿泊研修では、出会ったばかりのクラスメートと協力し1つの作品を作り上げることで、いつの間にかたくさんの仲間ができていました。なにもわからず子どもへの接し方に戸惑っていた初めての実習も、今では積極的に取り組み子どもと関わることが何より楽しいと感じるようになってきました。授業では、子どもを深く学ぶことができ、現在の子どもの抱えている問題などについてもたくさんのことを知ることができました。学校での生活は授業で得た知識以外にも、人と協力して1つの物事に取り組むなど多くのことを学び、成長することができたのではないかと

思っています。

2年間を通して1番印象に残っているのは、やはり保育研究発表会です。クラスで力を合わせ、何度も話し合いを重ね、1年間の授業の成果を出し切りました。2年生の発表会ではピアノ連弾もさせていただきました、良い経験になりました。



学校生活の全体を振り返ってみると、人と協力して1つの物事に取り組む難しさや、やり遂げた時の充実感を身をもって感じる事ができました。就職した先でも、職員とのチームワークや仕事場での生活が充実するよう励み、学校で学んだすべての事を生かしていきたいと思っています。

「保育研究発表会を終えて」

保2 A 学生 黒田 賢志

みなさん、保育研究発表会お疲れ様でした。私は今回、委員長を務めさせて頂きましたが、仕事はそんなに大変ではありませんでした。というのも、今年は学生一人一人が何らかの役割についていて、それぞれがその責任を果たしていたおかげだと思います。特に数ヶ月も前から、昼休みや放課後に集まって協力してくれた実行委員の方々は大変だったと思います。ありがとうございました。

舞台発表では、各クラス15分程度の短い発表でしたが、それを作り上げるまでに様々なことを学んだと思います。舞台道具や衣装の製作、劇やダンス、歌などを自分達で一から考え、作りあげるのは初めてだった人も多いのではないのでしょうか。そして、その中で自分の考えたことややりたい事をみんなにわかりやすく伝える事、聞いてもらう事に苦労したという事もあったと思います。その様な苦労の一つ一つが、きっと力になっていることでしょう。また、私は舞台裏から発表を見ていましたが、発表の最中はもちろん、その前後のクラスのチームワークや、集中力には驚きました。ぜひこの体験を次につなげて行って下さい。

また今年はディスカッションという試みがなされ、先生方と有志の学生により、「保育士に求められる資質」というテーマで話し合いの場がもたれました。普段の授業とは異なった緊張感の中で、それぞれの先生方の専門的な話が聞け、学生も積極的に発言していて興味深い討論が展開されていました。

このディスカッションや、ソロ発表の増加、1年生は四季をテーマに全体で一つのものを作り上げるなど、保育研は毎年同じ事の繰り返しではありません。これからも試行錯誤を繰り返して、より良い保育研を作っていくして下さい。来年も楽しみにしています。



保幼1 B 学生 小鍛治 博昭

年末の保育研を終えて、早1カ月、やっと冷静になって振り返ることができるような気がします。「個性と色」を發揮し、その季節感を表現する。これが簡単そうに見えて、予想以上に高いハードルでした。

保育研に向けて本格的に動き出したのは夏頃。企画委員を中心に、企画、立案の話し合いが幾度となく続けられました。が、企画委員といってもズブの素人ばかり、話し合いが上手いかない苛立ちから、何度もケンカを繰り返し、学校に行きたくない日もありました。しかし、上手いかなかったのは全てを自分でこなそうとして、クラスメートを心から信用していなかった原因があると気がつきました。それから、クラスメートそれぞれが自分の得意分野でリーダーシップを發揮し、責任感を持って取り組んでくれました。また、苦手なものに積極的に取り組む友達の姿を見て、「私もがんばらなきゃ」と奮起するメンバーも増え、互いに切磋琢磨し、本当の意味で皆が一つの方向へ向かっていきました。

本番当日、自信に満ちて舞台上に立った僕は、持てる全ての力で演じ、表現しました。合唱の時に感極まって涙がこぼれそうだったのを今でも忘れません。

「保育研究発表会」に至るまでのプロセスの中で、普段は見えないようなクラスメートの個性や特徴を見て、今まで以上に「クラス」を好きになれたことが心の中に宝物として刻まれました。

